

■フランス・ポルトガル：Engie と EDP、洋上風力の共同事業会社を設立へ

2019年5月21日付のエネルギー専門サイトによると、フランスの大手エネルギー事業者の Engie とポルトガルの大手エネルギー事業者の EDP が洋上風力事業を統合して共同事業会社を設立すると報じた。両社は、それぞれが個別に実施、検討している洋上風力案件を持ち寄ることで効率的な事業運営をめざしている。Engie の CEO は「洋上風力事業は 2030 年まで成長が見込める部門で、共同事業会社の設立により我々の競争力を高め、市場で成長して行きたい」としている。当面の投資対象地域としては欧州に加え、米国、韓国や日本を含むアジアが検討対象となっている。また、両社は着床式に加え浮体式の洋上風力事業の実証事業に参加しているため、将来は浮体式でリーダーを目指すとしている。共同事業会社は規制当局の承認が得られれば、2019 年内に設立される見通しである。